

## 平成24年度における都内私立学校の児童・生徒の問題行動等の実態

### 1 調査の概要

本調査は、文部科学省が全国の小学校、中学校、高等学校(全日制・定時制)及び特別支援学校を対象に、平成24年度(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)における「暴力行為」、「いじめ」、「不登校」、「高等学校における長期欠席」及び「高等学校における中途退学者等」等の実態把握のため、実施した調査のうち、東京都内の私立学校分を取りまとめたものである。

#### <調査対象>

私立小学校	53校	(児童数 26,261人)	
私立中学校	188校	(生徒数 77,748人)	休校含む。
私立高等学校	237校	(生徒数 175,838人)	休校含む。
私立特別支援学校	4校	(児童・生徒数 210人)	

※ 学校数及び児童・生徒数は、平成24年度学校基本調査(平成24年5月1日現在)による。

ただし、「(5)私立高等学校における中途退学者数等の状況」については、平成24年4月1日現在の高等学校の生徒(生徒数 175,754人)が対象である。

### 2 主な調査結果 ※カッコ内は前年度数値

#### (1) 私立小学校、中学校、高等学校における暴力行為の状況 【資料の1(3頁)参照】

平成23年度に比べ、暴力行為の発生件数は小学校、中学校及び高等学校において減少している。

学校内での暴力行為は、小学校1校で2件(7件)、中学校45校で157件(191件)及び高等学校58校で188件(211件)発生している。

学校外での暴力行為は、小学校2校で2件(0件)、中学校4校で4件(4件)及び高等学校7校で10件(12件)発生している。

※ 本調査における「暴力行為」とは、「自校の児童生徒が、故意に有形力(目に見える物理的な力)を加える行為」をいい、被暴力行為の対象によって、「対教師暴力」(教師に限らず、用務員等の学校職員も含む)、「生徒間暴力」(何らかの人間関係がある児童生徒同士に限る)、「対人暴力」(対教師暴力、生徒間暴力の対象者を除く)、学校の施設・設備等の「器物損壊」の四形態に分けている。

#### 【問い合わせ先】

生活文化局私学部私学行政課 電話 03-5388-3194

(2) 私立小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校におけるいじめの状況 【資料の2(4頁)参照】

平成23年度に比べ、いじめの認知件数は小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校において増加している。

いじめは小学校20校で59件(19件)、中学校93校で413件(167件)、高等学校84校で238件(107件)及び特別支援学校1校で3件(0件)発生している。

※ 本調査における「いじめ」とは、「当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの」とし、起こった場所は学校の内外を問わない。なお、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの学校の判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立って行うものとしている。

(3) 私立小学校及び中学校における不登校の状況 【資料の3(9頁)参照】

平成23年度に比べ、不登校児童生徒数は小学校において減少しており、中学校において増加している。

不登校児童生徒数は小学校15校で29人(34人)及び中学校145校で822人(804人)である。

※ 本調査における「不登校」とは、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくともできない状況にあること(ただし、病気や経済的な理由によるものを除く)をいう。

※ また、「不登校児童生徒数」とは、不登校により平成24年4月1日から平成25年3月31日までに連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒をいう。

(4) 私立高等学校における長期欠席の状況 【資料の4(12頁)参照】

平成23年度に比べ、長期欠席者数は全日制において減少しており、定時制において増加している。

長期欠席者数は1,420人(1,536人)で、全日制は1,367人(1,492人)及び定時制は53人(44人)である。

※ 本調査における「長期欠席者数」とは、学校基本調査の小学校・中学校における「長期欠席者」に準じて、「平成24年4月1日から平成25年3月31日までに連続又は断続して30日以上欠席した生徒」をいう。

(5) 私立高等学校における中途退学者数等の状況 【資料の5(13頁)参照】

平成23年度に比べ、退学となった生徒数(全日制)は増加しており、原級留置となった生徒数(全日制)は減少している。

退学者数は1,774人で、全日制は1,748人(1,688人)及び定時制は26人である。

平成24年3月31日で原級留置となった生徒数は233人で、全日制は229人(262人)で、定時制は4人である。

## 1 私立小学校、中学校及び高等学校における暴力行為の状況

## (1) 暴力行為の発生状況

項目 校種	学校総数(校) A	区分	発生学校数(校) B	発生率(%) B/A×100	発生件数(件) C	1校あたりの件数(件) C/A
小学校	53 (53)	学校内	1 (3)	1.9% (5.7%)	2 (7)	0.04 (0.13)
		学校外	2 (0)	3.8% (0.0%)	2 (0)	0.04 (0.00)
中学校	188 (187)	学校内	45 (49)	23.9% (26.2%)	157 (191)	0.84 (1.02)
		学校外	4 (4)	2.1% (2.1%)	4 (4)	0.02 (0.02)
高等学校	237 (237)	学校内	58 (66)	24.5% (27.8%)	188 (211)	0.79 (0.89)
		学校外	7 (9)	3.0% (3.8%)	10 (12)	0.04 (0.05)

※表中の( )内は前年度数値

## (2) 対教師暴力の状況

項目 校種	学校総数 (校)	区分	発生学校数 (校)	発生件数 (件)	加害児童・生徒数 (人)	被害教師数 (人)
小学校	53	学校内	0 (0.0%)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)
		学校外	0 (0.0%)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)
中学校	188	学校内	2 (1.1%)	5 (0.03)	13 (2.60)	5 (1.00)
		学校外	0 (0.0%)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)
高等学校	237	学校内	12 (5.1%)	17 (0.07)	17 (1.00)	17 (1.00)
		学校外	0 (0.0%)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)

※表中の( )内は、「発生学校数」欄が発生学校数/学校総数×100、「発生件数」欄が発生件数/学校総数、  
「加害児童・生徒数」欄が加害児童・生徒数/発生件数、「被害教師数」欄が被害教師数/発生件数

## (3) 生徒間暴力の状況

項目 校種	学校総数 (校)	区分	発生学校数 (校)	発生件数 (件)	加害児童・生徒数 (人)	被害児童・生徒数 (人)
小学校	53	学校内	0 (0.0%)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)
		学校外	2 (3.8%)	2 (0.04)	2 (1.00)	3 (1.50)
中学校	188	学校内	39 (20.7%)	115 (0.61)	125 (1.09)	113 (0.98)
		学校外	3 (1.6%)	4 (0.02)	10 (2.50)	5 (1.25)
高等学校	237	学校内	44 (18.6%)	128 (0.54)	166 (1.30)	140 (1.09)
		学校外	4 (1.7%)	5 (0.02)	5 (1.00)	6 (1.20)

※表中の( )内は、「発生学校数」欄が発生学校数/学校総数×100、「発生件数」欄が発生件数/学校総数、  
「加害児童・生徒数」欄が加害児童・生徒数/発生件数、「被害児童・生徒数」欄が被害児童・生徒数/発生件数  
※加害被害の別が判明しない場合は、「加害児童・生徒数」欄に含めている。

## (4) 対人暴力の状況

項目 校種	学校総数 (校)	区分	発生学校数 (校)	発生件数 (件)	加害児童・生徒数 (人)	被害者数 (人)
小学校	53	学校内	0 (0.0%)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)
		学校外	0 (0.0%)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)
中学校	188	学校内	0 (0.0%)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)
		学校外	0 (0.0%)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)
高等学校	237	学校内	3 (1.3%)	3 (0.01)	3 (1.00)	4 (1.33)
		学校外	4 (1.7%)	5 (0.02)	14 (2.80)	14 (2.80)

※表中の( )内は、「発生学校数」欄が発生学校数/学校総数×100、「発生件数」欄が発生件数/学校総数、  
「加害児童・生徒数」欄が加害児童・生徒数/発生件数、「被害者数」欄が被害者数/発生件数

## (5) 器物損壊の状況

項目 校種	学校総数 (校)	発生学校数 (校)	発生件数 (件)	加害児童・生徒数 (人)
小学校	53	2 (3.8%)	2 (0.04)	3 (1.50)
中学校	188	18 (9.6%)	37 (0.20)	51 (1.38)
高等学校	237	19 (8.0%)	40 (0.17)	54 (1.35)

※表中の( )内は、「発生学校数」欄が発生学校数/学校総数×100、「発生件数」欄が発生件数/学校総数、  
「加害児童・生徒数」欄が加害児童・生徒数/発生件数

## (6) 暴力行為の学年・男女別加害児童・生徒数

(単位:人)

項目 校種	区分	1年生		2年生		3年生	
		男	女	男	女	男	女
小学校	学校内	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	学校外	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	計	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
中学校	学校内	78 (41.9%)	0 (0.0%)	61 (32.8%)	0 (0.0%)	47 (25.3%)	3 (100.0%)
	学校外	3 (30.0%)	0 (0.0%)	5 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (20.0%)	0 (0.0%)
	計	81 (41.3%)	0 (0.0%)	66 (33.7%)	0 (0.0%)	49 (25.0%)	3 (100.0%)
高等学校	学校内	96 (41.9%)	3 (27.3%)	95 (41.5%)	3 (27.3%)	38 (16.6%)	5 (45.5%)
	学校外	14 (73.7%)	0 (0.0%)	4 (21.1%)	0 (0.0%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)
	計	110 (44.4%)	3 (27.3%)	99 (39.9%)	3 (27.3%)	39 (15.7%)	5 (45.5%)

項目 校種	区分	4年生		5年生		6年生	
		男	女	男	女	男	女
小学校	学校内	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	学校外	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)
	計	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (100.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)

※表中の( )は、該当する男女別児童・生徒数/男女別加害児童・生徒区分別総数×100

## 2 私立小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校におけるいじめの状況

## (1) 「いじめ」の認知状況等

項目	校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学校総数(校)	A	53 (53)	188 (187)	237 (237)	4 (4)	482 (481)
認知学校数(校)	B	20 (10)	93 (62)	84 (42)	1 (0)	198 (114)
認知件数(件)	C	59 (19)	413 (167)	238 (107)	3 (0)	713 (293)
警察に相談・通報した学校数(校)		1 (—)	3 (—)	2 (—)	0 (—)	6 (—)
警察に相談・通報した件数(件)		1 (—)	3 (—)	2 (—)	0 (—)	6 (—)
認知学校率	B/A×100	37.7% (18.9%)	49.5% (33.2%)	35.4% (17.7%)	25.0% (0.0%)	41.1% (23.7%)
1校当たりの件数(件)	C/A	1.1 (0.4)	2.2 (0.9)	1.0 (0.5)	0.8 (0.0)	1.5 (0.6)

※表中の( )内は前年度数値

## (2) いじめの現在の状況

(単位:件)

項目	校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
解消しているもの		39 (66.1%)	328 (79.4%)	204 (85.7%)	2 (66.7%)	573 (80.4%)
一定の解消が図られたが、継続支援中		17 (28.8%)	56 (13.6%)	17 (7.1%)	1 (33.3%)	91 (12.8%)
解消に向けて取組中		1 (1.7%)	10 (2.4%)	6 (2.5%)	0 (0.0%)	17 (2.4%)
その他(他校への転学、退学等)		2 (3.4%)	19 (4.6%)	11 (4.6%)	0 (0.0%)	32 (4.5%)

※表中の( )内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

## (3) いじめの認知件数の学年別、男女別内訳

(単位:人)

学年		校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
計	男子		35 (59.3%)	254 (61.5%)	166 (69.7%)	1 33.3%	456 (64.0%)
	女子		24 (40.7%)	159 (38.5%)	72 (30.3%)	2 66.7%	257 (36.0%)
	計		59 (100.0%)	413 (100.0%)	238 (100.0%)	3 100.0%	713 (100.0%)
1年生	男子		1 (1.7%)	127 (30.8%)	95 (39.9%)		
	女子		2 (3.4%)	83 (20.1%)	45 (18.9%)		
	計		3 (5.1%)	210 (50.8%)	140 (58.8%)		
2年生	男子		2 (3.4%)	70 (16.9%)	53 (22.3%)		
	女子		3 (5.1%)	53 (12.8%)	17 (7.1%)		
	計		5 (8.5%)	123 (29.8%)	70 (29.4%)		
3年生	男子		5 (8.5%)	57 (13.8%)	18 (7.6%)		
	女子		2 (3.4%)	23 (5.6%)	10 (4.2%)		
	計		7 (11.9%)	80 (19.4%)	28 (11.8%)		
4年生	男子		12 (20.3%)				
	女子		2 (3.4%)				
	計		14 (23.7%)				
5年生	男子		6 (10.2%)				
	女子		10 (16.9%)				
	計		16 (27.1%)				
6年生	男子		9 (15.3%)				
	女子		5 (8.5%)				
	計		14 (23.7%)				

※表中の( )内は、該当する人数/いじめの認知件数×100

## (4) いじめの発見のきっかけ

(単位:件)

区分		校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学校の教職員等が発見			25 (42.4%)	127 (30.8%)	90 (37.8%)	1 (33.3%)	243 (34.1%)
内 訳	学級担任が発見		24	85	50	1	160
	学級担任以外の教職員が発見 (養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)		0	11	14	0	25
	養護教諭が発見		1	5	5	0	11
	スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見		0	6	4	0	10
	アンケート調査など学校の取組により発見		0	20	17	0	37
学校の教職員以外からの情報により発見			34 (57.6%)	286 (69.2%)	148 (62.2%)	2 (66.7%)	470 (65.9%)
内 訳	本人からの訴え		10	159	83	1	253
	当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え		17	73	41	1	132
	児童生徒(本人を除く)からの情報		2	35	19	0	56
	保護者(本人の保護者を除く)からの情報		4	19	4	0	27
	地域の住民からの情報		1	0	0	0	1
	学校以外の関係機関(相談機関を含む)からの情報		0	0	0	0	0
	その他(匿名による投書など)		0	0	1	0	1
計			59	413	238	3	713

※表中の( )内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

## (5) いじめられた児童・生徒の相談の状況

(単位:件)

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学級担任に相談	45 (76.3%)	291 (70.5%)	160 (67.2%)	0 (0.0%)	496 (69.6%)
学級担任以外の教職員に相談 (養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	7 (11.9%)	52 (12.6%)	48 (20.2%)	1 (33.3%)	108 (15.1%)
養護教諭に相談	5 (8.5%)	25 (6.1%)	13 (5.5%)	0 (0.0%)	43 (6.0%)
スクールカウンセラー等の相談員に相談	4 (6.8%)	65 (15.7%)	21 (8.8%)	0 (0.0%)	90 (12.6%)
学校以外の相談機関に相談(電話相談やメール等も含む)	1 (1.7%)	16 (3.9%)	7 (2.9%)	0 (0.0%)	24 (3.4%)
保護者や家族等に相談	28 (47.5%)	161 (39.0%)	80 (33.6%)	2 (66.7%)	271 (38.0%)
友人に相談	5 (8.5%)	47 (11.4%)	37 (15.5%)	0 (0.0%)	89 (12.5%)
その他(地域の人など)	1 (1.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.1%)
誰にも相談していない	2 (3.4%)	8 (1.9%)	25 (10.5%)	0 (0.0%)	35 (4.9%)
計	98 (166.1%)	665 (161.0%)	391 (164.3%)	3 (100.0%)	1,157 (162.3%)

※回答は複数選択

※表中の( )内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

## (6) いじめの態様

(単位:件)

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	46 (78.0%)	239 (57.9%)	141 (59.2%)	3 (100.0%)	429 (60.2%)
仲間はずれ、集団による無視をされる	11 (18.6%)	100 (24.2%)	31 (13.0%)	0 (0.0%)	142 (19.9%)
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	14 (23.7%)	64 (15.5%)	69 (29.0%)	1 (33.3%)	148 (20.8%)
ひどくぶたれたり、叩かれたり、蹴られたりする	5 (8.5%)	21 (5.1%)	24 (10.1%)	0 (0.0%)	50 (7.0%)
金品をたかられる	3 (5.1%)	14 (3.4%)	14 (5.9%)	0 (0.0%)	31 (4.3%)
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	4 (6.8%)	40 (9.7%)	26 (10.9%)	0 (0.0%)	70 (9.8%)
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする	3 (5.1%)	28 (6.8%)	22 (9.2%)	0 (0.0%)	53 (7.4%)
パソコンや携帯電話で、誹謗中傷やいやなことをされる	2 (3.4%)	56 (13.6%)	56 (23.5%)	0 (0.0%)	114 (16.0%)
その他	0 (0.0%)	10 (2.4%)	7 (2.9%)	0 (0.0%)	17 (2.4%)
計	88 (149.2%)	572 (138.5%)	390 (163.9%)	4 (133.3%)	1,054 (147.8%)

※回答は複数選択

※表中の( )内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

## (7) いじめる児童・生徒への対応

(単位:件)

区分		校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学級担任や他の教職員が状況を聞く			56 (94.9%)	345 (83.5%)	208 (87.4%)	3 (100.0%)	612 (85.8%)
養護教諭が状況を聞く			6 (10.2%)	12 (2.9%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	19 (2.7%)
スクールカウンセラー等の相談員が状況を聞く			1 (1.7%)	53 (12.8%)	11 (4.6%)	0 (0.0%)	65 (9.1%)
スクールカウンセラー等の相談員がカウンセリングを行う			3 (5.1%)	38 (9.2%)	35 (14.7%)	0 (0.0%)	76 (10.7%)
学級担任や他の教職員が指導			42 (71.2%)	295 (71.4%)	151 (63.4%)	1 (33.3%)	489 (68.6%)
養護教諭が指導			0 (0.0%)	20 (4.8%)	9 (3.8%)	0 (0.0%)	29 (4.1%)
校長、教頭が指導			11 (18.6%)	100 (24.2%)	82 (34.5%)	0 (0.0%)	193 (27.1%)
別室指導			11 (18.6%)	60 (14.5%)	42 (17.6%)	0 (0.0%)	113 (15.8%)
グループ替えや席替え、学級替え等			11 (18.6%)	24 (5.8%)	10 (4.2%)	0 (0.0%)	45 (6.3%)
退学・転学	懲戒処分としての退学		0 (0.0%)	2 (0.5%)	8 (3.4%)	0 (0.0%)	10 (1.4%)
	その他		0 (0.0%)	9 (2.2%)	10 (4.2%)	0 (0.0%)	19 (2.7%)
停学			— —	— —	45 (18.9%)	0 (0.0%)	45 (6.3%)
自宅学習・自宅謹慎			— —	— —	13 (5.5%)	0 (0.0%)	13 (1.8%)
訓告			0 (0.0%)	33 (8.0%)	45 (18.9%)	0 (0.0%)	78 (10.9%)
保護者への報告			41 (69.5%)	213 (51.6%)	117 (49.2%)	0 (0.0%)	371 (52.0%)
いじめられた児童・生徒やその保護者に対する謝罪の指導			34 (57.6%)	156 (37.8%)	97 (40.8%)	0 (0.0%)	287 (40.3%)
関係機関等との連携	警察等の刑事司法機関等との連携		0 (0.0%)	5 (1.2%)	7 (2.9%)	0 (0.0%)	12 (1.7%)
	児童相談所等の福祉機関等との連携		0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	病院等の医療機関等との連携		0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	その他の専門的な関係機関等との連携		0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	地域の人材や団体等との連携		0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他			1 (1.7%)	9 (2.2%)	5 (2.1%)	0 (0.0%)	15 (2.1%)
計			217 (367.8%)	1,374 (332.7%)	896 (376.5%)	4 (133.3%)	2,491 (349.4%)

※回答は複数選択

※表中の( )内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

## (8) いじめる児童・生徒に対する関係機関の措置別人数

(単位:人)

区分	校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
警察の補導(家庭裁判所送致等されず、警察限りで処理されたもの)		0	0	4	0	4
家庭裁判所(不処分、審判不開始を含む)		0	1	0	0	1
少年刑務所		—	—	0	0	0
少年院		0	0	0	0	0
保護観察		0	0	0	0	0
児童自立支援施設		0	0	0	0	0
児童相談所		0	0	0	0	0
計		0	1	4	0	5

## (9) いじめられた児童・生徒への対応

(単位:件)

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
学級担任や他の教職員が状況を聞く	56 (94.9%)	370 (89.6%)	219 (92.0%)	3 (100.0%)	648 (90.9%)
養護教諭が状況を聞く	8 (13.6%)	41 (9.9%)	25 (10.5%)	0 (0.0%)	74 (10.4%)
スクールカウンセラー等の相談員が状況を聞く	8 (13.6%)	96 (23.2%)	37 (15.5%)	0 (0.0%)	141 (19.8%)
学級担任や他の教職員が継続的に面談しケアを行う	43 (72.9%)	272 (65.9%)	155 (65.1%)	1 (33.3%)	471 (66.1%)
養護教諭が継続的に面談しケアを行う	6 (10.2%)	18 (4.4%)	12 (5.0%)	0 (0.0%)	36 (5.0%)
スクールカウンセラー等の相談員が継続的にカウンセリングを行う	2 (3.4%)	67 (16.2%)	29 (12.2%)	0 (0.0%)	98 (13.7%)
別室を提供したり、常時教職員が付くなどして心身の安全を確保	3 (5.1%)	27 (6.5%)	34 (14.3%)	0 (0.0%)	64 (9.0%)
緊急避難としての欠席	1 (1.7%)	6 (1.5%)	5 (2.1%)	0 (0.0%)	12 (1.7%)
他の児童生徒に対し、助力・支援を個別に依頼	16 (27.1%)	55 (13.3%)	38 (16.0%)	0 (0.0%)	109 (15.3%)
学級担任や他の教職員等が家庭訪問を実施	0 (0.0%)	27 (6.5%)	3 (1.3%)	0 (0.0%)	30 (4.2%)
グループ替えや席替え、学級替え等	15 (25.4%)	57 (13.8%)	13 (5.5%)	0 (0.0%)	85 (11.9%)
当該いじめについて、教育委員会と連携して対応	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
児童相談所等の関係機関と連携した対応(サポートチームなども含む)	0 (0.0%)	1 (0.2%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)	2 (0.3%)
その他	0 (0.0%)	2 (0.5%)	4 (1.7%)	0 (0.0%)	6 (0.8%)
計	158 (267.8%)	1,039 (251.6%)	575 (241.6%)	4 (133.3%)	1,776 (249.1%)

※回答は複数選択

※表中の( )内は、該当する件数/いじめの認知件数×100

## (10) 学校におけるいじめの問題に対する日常の取組

(単位:校)

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
職員会議等を通じて、いじめ問題について教職員間で共通理解を図った	50 (94.3%)	152 (80.9%)	201 (84.8%)	2 (50.0%)	405 (84.0%)
いじめの問題に関する校内研修を実施した	14 (26.4%)	35 (18.6%)	49 (20.7%)	0 (0.0%)	98 (20.3%)
道徳や学級活動の時間にいじめにかかわる問題を取り上げ、指導を行った	51 (96.2%)	134 (71.3%)	125 (52.7%)	3 (75.0%)	313 (64.9%)
児童・生徒会活動等を通じて、いじめの問題を考えさせたり、生徒同士の人間関係や仲間作りを促進した	25 (47.2%)	80 (42.6%)	86 (36.3%)	2 (50.0%)	193 (40.0%)
スクールカウンセラー、相談員、養護教諭を積極的に活用して相談にあたった	33 (62.3%)	125 (66.5%)	151 (63.7%)	2 (50.0%)	311 (64.5%)
いじめ問題に対応するため、校内組織の整備など教育相談体制の充実を図った	25 (47.2%)	62 (33.0%)	72 (30.4%)	1 (25.0%)	160 (33.2%)
教育相談の実施について、必要に応じて教育センターなどの専門機関と連携を図るとともに、学校以外の相談窓口の周知や広報の徹底を図った	10 (18.9%)	15 (8.0%)	21 (8.9%)	0 (0.0%)	46 (9.5%)
学校におけるいじめへの対応方針や指導計画等を公表し、保護者や地域住民の理解を得るよう努めた	6 (11.3%)	28 (14.9%)	32 (13.5%)	0 (0.0%)	66 (13.7%)
PTAや地域の関係団体等とともに、いじめの問題について協議する機会を設けた	2 (3.8%)	7 (3.7%)	8 (3.4%)	0 (0.0%)	17 (3.5%)
いじめの問題に対し、地域の関係機関と連携協力した対応を図った	1 (1.9%)	2 (1.1%)	4 (1.7%)	0 (0.0%)	7 (1.5%)
その他	0 (0.0%)	1 (0.5%)	3 (1.3%)	0 (0.0%)	4 (0.8%)
計	217 (409.4%)	641 (341.0%)	752 (317.3%)	10 (250.0%)	1,620 (336.1%)

※回答は複数選択

※表中の( )内は、該当する校数/校種別学校総数×100

## (11) いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童・生徒に対し行った具体的な方法について

(単位:校)

区分		校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計	
アンケート調査の実施			16 (30.2%)	59 (31.4%)	71 (30.0%)	0 (0.0%)	146 (30.3%)	
実施 頻度	年1回		6 (11.3%)	30 (16.0%)	37 (15.6%)	0 (0.0%)	73 (15.1%)	
	年2～3回		9 (17.0%)	27 (14.4%)	31 (13.1%)	0 (0.0%)	67 (13.9%)	
	年4回以上		1 (1.9%)	2 (1.1%)	3 (1.3%)	0 (0.0%)	6 (1.2%)	
	調査 方法	記名式		9 (17.0%)	24 (12.8%)	24 (10.1%)	0 (0.0%)	57 (11.8%)
		無記名式		7 (13.2%)	32 (17.0%)	42 (17.7%)	0 (0.0%)	81 (16.8%)
		選択式		3 (5.7%)	6 (3.2%)	6 (2.5%)	0 (0.0%)	15 (3.1%)
個別面談の実施			38 (71.7%)	147 (78.2%)	170 (71.7%)	1 (25.0%)	356 (73.9%)	
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童生徒との間で日常的に行われている日記等			25 (47.2%)	53 (28.2%)	33 (13.9%)	0 (0.0%)	111 (23.0%)	
家庭訪問			3 (5.7%)	8 (4.3%)	9 (3.8%)	0 (0.0%)	20 (4.1%)	
その他			4 (7.5%)	9 (4.8%)	13 (5.5%)	0 (0.0%)	26 (5.4%)	
計			86 (162.3%)	276 (146.8%)	296 (124.9%)	1 (25.0%)	659 (136.7%)	

※回答は複数選択

※表中の( )内は、該当する校数/校種別学校総数×100

## 3 私立小学校及び中学校における不登校の状況

## (1) 不登校の発生状況

項目		校種	小学校	中学校	計
学校総数(校)	A		53 (53)	188 (187)	241 (240)
在籍学校数(人)	B		15 (18)	145 (141)	160 (159)
在籍児童・生徒総数(人)	C		26,261 (26,571)	77,748 (79,700)	104,009 (106,271)
不登校児童・生徒数(人)	D		29 (34)	822 (804)	851 (838)
学校発生率(%)	B/A×100		28.3% (34.0%)	77.1% (75.4%)	66.4% (66.3%)
児童・生徒発生率(%)	D/C×100		0.1% (0.1%)	1.1% (1.0%)	0.8% (0.8%)

※表中の( )内は前年度数値

## (2) 不登校児童・生徒数及び学年別内訳

(単位:人)

項目	小学校		中学校	
	男	女	男	女
1年	1	0	108	111
2年	1	1	141	153
3年	1	1	153	156
4年	4	3		
5年	7	3		
6年	2	5		
計	16	13	402	420

## (3) 不登校になったきっかけと考えられる状況

(単位:人)

区分		校種	小学校	中学校
学校に係る状況	いじめ		0 (0.0%)	19 (2.3%)
	いじめを除く友人関係をめぐり問題		2 (6.9%)	84 (10.2%)
	教職員との関係をめぐり問題		2 (6.9%)	9 (1.1%)
	学業の不振		2 (6.9%)	86 (10.5%)
	進路にかかる不安		0 (0.0%)	10 (1.2%)
	クラブ活動、部活動等への不適応		0 (0.0%)	8 (1.0%)
	学校のきまり等をめぐり問題		0 (0.0%)	3 (0.4%)
	入学、転編入学、進級時の不適応		0 (0.0%)	36 (4.4%)
家庭に係る状況	家庭の生活環境の急激な変化		1 (3.4%)	24 (2.9%)
	親子関係をめぐり問題		3 (10.3%)	82 (10.0%)
	家庭内の不和		0 (0.0%)	37 (4.5%)
本人に係る状況	病気による欠席		3 (10.3%)	78 (9.5%)
	あそび・非行		0 (0.0%)	12 (1.5%)
	無気力		3 (10.3%)	87 (10.6%)
	不安など情緒的混乱		16 (55.2%)	239 (29.1%)
	意図的な拒否		1 (3.4%)	37 (4.5%)
	上記「病気による欠席」から「意図的な拒否」までのいずれにも該当しない、本人に関わる問題		2 (6.9%)	51 (6.2%)
その他		0 (0.0%)	6 (0.7%)	
不明		2 (6.9%)	22 (2.7%)	
計		37 (127.6%)	930 (113.1%)	

※回答は複数選択

※表中の( )内は、該当する児童・生徒数/不登校児童・生徒数×100

## (4) 不登校児童生徒への指導結果状況

(単位:人)

項目	校種		中学校	
	小学校			
指導の結果登校する又はできるようになった児童・生徒	11 (37.9%)	(7) (20.6%)	224 (27.3%)	(217) (25.9%)
指導中の児童・生徒	18 (62.1%)	(27) (79.4%)	598 (72.7%)	(621) (74.1%)
計	29 (100.0%)	(34) (100.0%)	822 (100.0%)	(838) (100.0%)

※表中の右欄( )内は前年度数値

※表中で%を付した( )内は、該当する児童・生徒数/不登校児童・生徒数×100

(5)「指導の結果登校する又はできるようになった児童・生徒」  
に特に効果のあった学校の措置

(単位:校)

区分	校種	小学校	中学校
不登校の問題について、研修会や事例研究会を通じて全教師の共通理解を図った		3 (20.0%)	9 (6.2%)
全ての教師が当該児童・生徒に触れ合いを多くするなどして学校全体で指導にあたった		5 (33.3%)	15 (10.3%)
教育相談担当の教師が専門的に指導にあたった		5 (33.3%)	10 (6.9%)
養護教諭が専門的に指導にあたった		2 (13.3%)	22 (15.2%)
スクールカウンセラー、相談員等が専門的に相談にあたった		5 (33.3%)	54 (37.2%)
友人関係を改善するための指導を行った		2 (13.3%)	24 (16.6%)
教師との触れ合いを多くするなど、教師との関係を改善した		5 (33.3%)	27 (18.6%)
授業方法の改善、個別の指導など授業がわかるようにする工夫を行った		2 (13.3%)	10 (6.9%)
様々な活動の場面において本人が意欲をもって活動できる場を用意した		4 (26.7%)	19 (13.1%)
保健室等特別の場所に登校させて指導にあたった		4 (26.7%)	42 (29.0%)
登校を促すため、電話をかけたか迎えに行くなどした		3 (20.0%)	39 (26.9%)
家庭訪問を行い、学業や生活面での相談にのるなど様々な指導・援助を行った		2 (13.3%)	27 (18.6%)
保護者の協力を求めて、家族関係や家庭生活の改善を図った		4 (26.7%)	45 (31.0%)
教育相談センター等の相談機関と連携して指導にあたった		1 (6.7%)	6 (4.1%)
病院等の医療機関と連携して指導にあたった		2 (13.3%)	19 (13.1%)
その他		0 (0.0%)	9 (6.2%)
計		49 (326.7%)	377 (260.0%)

※回答は複数選択

※表中の( )内は、該当する児童・生徒数/不登校児童・生徒在籍学校数×100

(6) 相談・指導等を受けた学校内外の機関等

(単位:人)

区分	校種	小学校	中学校
学校外	① 教育支援センター(適応指導教室)	2 (6.9%)	25 (3.0%)
	② 教育委員会及び教育センター等教育委員会所管の機関(①を除く)	1 (3.4%)	17 (2.1%)
	③ 児童相談所、福祉事務所	0 (0.0%)	17 (2.1%)
	④ 保健所、精神保健福祉センター	0 (0.0%)	2 (0.2%)
	⑤ 病院、診療所	7 (24.1%)	189 (23.0%)
	⑥ 民間団体、民間施設	1 (3.4%)	15 (1.8%)
	⑦ 上記以外の機関等	1 (3.4%)	4 (0.5%)
	上記①～⑦の機関等での相談・指導等を受けていない人数	17 (58.6%)	568 (69.1%)
学校内	⑧ 養護教諭による専門的な指導を受けた人数	16 (55.2%)	162 (19.7%)
	⑨ スクールカウンセラー、相談員等による専門的な相談を受けた人数	21 (72.4%)	479 (58.3%)
	上記⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数	6 (20.7%)	291 (35.4%)
上記①～⑦、⑧、⑨による相談・指導等を受けていない人数	1 (3.4%)	179 (21.8%)	

※回答は複数選択

※表中の( )内は、該当する児童・生徒数/不登校児童・生徒数×100

#### 4 私立高等学校における長期欠席の状況

##### (1) 長期欠席者の状況

(単位:人)

項目	校種		定時制		計	
	全日制					
病気	442 (32.3%)	(546) (36.6%)	9 (17.0%)	(9) (20.5%)	451 (31.8%)	(555) (36.1%)
経済的理由	13 (1.0%)	(28) (1.9%)	0 (0.0%)	(0) (0.0%)	13 (0.9%)	(28) (1.8%)
不登校	827 (60.5%)	(752) (50.4%)	44 (83.0%)	(34) (77.3%)	871 (61.3%)	(786) (51.2%)
その他	85 (6.2%)	(166) (11.1%)	0 (0.0%)	(1) (2.3%)	85 (6.0%)	(167) (10.9%)
計	1,367 (100.0%)	(1,492) (100.0%)	53 (100.0%)	(44) (100.0%)	1,420 (100.0%)	(1,536) (100.0%)

※表中の右欄( )内は前年度数値

※表中で%を付した( )内は、該当する生徒数/長期欠席者数×100

##### (2) 学年別長期欠席理由

(単位:人)

校種	理由 学年	病気	経済的理由	不登校		その他	合計	
				中退	原級留置			
全日制	1年	139	4	339	143	29	25	507
	2年	172	7	303	88	10	29	511
	3年	131	2	185	27	3	31	349
	計	442	13	827	258	42	85	1,367
定時制	1年	0	0	7	1	3	0	7
	2年	0	0	9	5	1	0	9
	3年	0	0	3	0	0	0	3
	単位制	9	0	25	0	0	0	34
	計	9	0	44	6	4	0	53
合計		451	13	871	264	46	85	1,420

##### (3) 不登校になったきっかけと考えられる状況

(単位:人)

項目	校種		
	全日制	定時制	
学校に係る 状況	いじめ	2 (0.2%)	0 (0.0%)
	いじめを除く友人関係をめぐり の問題	74 (8.9%)	1 (2.3%)
	教職員との関係をめぐり の問題	10 (1.2%)	0 (0.0%)
	学業の不振	96 (11.6%)	4 (9.1%)
	進路にかかる不安	42 (5.1%)	1 (2.3%)
	クラブ活動、部活動等への 不適応	25 (3.0%)	0 (0.0%)
	学校のきまり等をめぐり の問題	19 (2.3%)	1 (2.3%)
	入学、転編入学、進級時の 不適応	61 (7.4%)	0 (0.0%)
家庭に係る 状況	家庭の生活環境の急激な 変化	37 (4.5%)	1 (2.3%)
	親子関係をめぐり の問題	100 (12.1%)	3 (6.8%)
	家庭内の不和	39 (4.7%)	1 (2.3%)
本人に係る 状況	病気による欠席	120 (14.5%)	3 (6.8%)
	あそび・非行	28 (3.4%)	4 (9.1%)
	無気力	141 (17.0%)	15 (34.1%)
	不安など情緒的混乱	218 (26.4%)	9 (20.5%)
	意図的な拒否	26 (3.1%)	0 (0.0%)
	上記「病気による欠席」から 「意図的な拒否」までのい ずれにも該当しない、本人 に関わる問題	24 (2.9%)	0 (0.0%)
その他	4 (0.5%)	1 (2.3%)	
不明	2 (0.2%)	0 (0.0%)	
計	1,069 (129.3%)	45 (102.3%)	

※回答は複数選択

※表中の( )内は、該当する生徒数/不登校生徒数×100

## 5 私立高等学校における中途退学者数等の状況

### (1) 退学者数

【全日制】

(単位:人)

学年	学科	普通科		専門学科		合計	
1年	生徒数	55,728		3,558		59,286	
	退学者数	838		118		956	
	退学率	1.5%		3.3%		1.6%	
2年	生徒数	53,302		3,711		57,013	
	退学者数	507		118		625	
	退学率	1.0%		3.2%		1.1%	
3年	生徒数	54,357		3,680		58,037	
	退学者数	141		26		167	
	退学率	0.3%		0.7%		0.3%	
計	生徒数	163,387	(163,466)	10,949	(10,793)	174,336	(174,259)
	退学者数	1,486	(1,452)	262	(236)	1,748	(1,688)
	退学率	0.9%	(0.9%)	2.4%	(2.2%)	1.0%	(1.0%)

【定時制】

(単位:人)

学年	定時制	
1年	生徒数	177
	退学者数	2
	退学率	1.1%
2年	生徒数	182
	退学者数	7
	退学率	3.8%
3年	生徒数	197
	退学者数	0
	退学率	0.0%
単位制	生徒数	862
	退学者数	17
	退学率	2.0%
計	生徒数	1,418
	退学者数	26
	退学率	1.8%

※生徒数は平成24年4月1日現在

※表中の( )内は前年度数値

### (2) 退学者の理由別・学年別内訳

【全日制】

(単位:人)

理由	学科等	普通科				専門学科				計			
		1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計
学業不振		76 (9.1%)	54 (10.7%)	14 (9.9%)	144 (9.7%)	11 (9.3%)	25 (21.2%)	1 (3.8%)	37 (14.1%)	87 (9.1%)	79 (12.6%)	15 (9.0%)	181 (10.4%)
学校生活・学業不適應		232 (27.7%)	112 (22.1%)	23 (16.3%)	367 (24.7%)	28 (23.7%)	20 (16.9%)	6 (23.1%)	54 (20.6%)	260 (27.2%)	132 (21.1%)	29 (17.4%)	421 (24.1%)
進路変更		317 (37.8%)	205 (40.4%)	47 (33.3%)	569 (38.3%)	41 (34.7%)	47 (39.8%)	6 (23.1%)	94 (35.9%)	358 (37.4%)	252 (40.3%)	53 (31.7%)	663 (37.9%)
病気・けが・死亡		59 (7.0%)	33 (6.5%)	25 (17.7%)	117 (7.9%)	4 (3.4%)	10 (8.5%)	5 (19.2%)	19 (7.3%)	63 (6.6%)	43 (6.9%)	30 (18.0%)	136 (7.8%)
経済的理由		21 (2.5%)	15 (3.0%)	2 (1.4%)	38 (2.6%)	6 (5.1%)	2 (1.7%)	1 (3.8%)	9 (3.4%)	27 (2.8%)	17 (2.7%)	3 (1.8%)	47 (2.7%)
家庭の事情		60 (7.2%)	38 (7.5%)	9 (6.4%)	107 (7.2%)	24 (20.3%)	10 (8.5%)	3 (11.5%)	37 (14.1%)	84 (8.8%)	48 (7.7%)	12 (7.2%)	144 (8.2%)
問題行動等		30 (3.6%)	25 (4.9%)	8 (5.7%)	63 (4.2%)	1 (0.8%)	3 (2.5%)	2 (7.7%)	6 (2.3%)	31 (3.2%)	28 (4.5%)	10 (6.0%)	69 (3.9%)
その他		43 (5.1%)	25 (4.9%)	13 (9.2%)	81 (5.5%)	3 (2.5%)	1 (0.8%)	2 (7.7%)	6 (2.3%)	46 (4.8%)	26 (4.2%)	15 (9.0%)	87 (5.0%)
計		838 (100.0%)	507 (100.0%)	141 (100.0%)	1,486 (100.0%)	118 (100.0%)	118 (100.0%)	26 (100.0%)	262 (100.0%)	956 (100.0%)	625 (100.0%)	167 (100.0%)	1,748 (100.0%)
生徒数		55,728	53,302	54,357	163,387	3,558	3,711	3,680	10,949	59,286	57,013	58,037	174,336
退学率		1.5%	1.0%	0.3%	0.9%	3.3%	3.2%	0.7%	2.4%	1.6%	1.1%	0.3%	1.0%

※表中の( )内は、該当する生徒数/退学者数×100

## 【定時制】

(単位:人)

理由	定時制				
	1年	2年	3年	単位制	計
学業不振	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 -	0 (0.0%)	0 (0.0%)
学校生活・学業不適応	0 (0.0%)	3 (42.9%)	0 -	7 (41.2%)	10 (38.5%)
進路変更	2 (100.0%)	4 (57.1%)	0 -	5 (29.4%)	11 (42.3%)
病気・けが・死亡	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 -	2 (11.8%)	2 (7.7%)
経済的理由	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 -	2 (11.8%)	2 (7.7%)
家庭の事情	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 -	0 (0.0%)	0 (0.0%)
問題行動等	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 -	0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 -	1 (5.9%)	1 (3.8%)
計	2 (100.0%)	7 (100.0%)	0 -	17 (100.0%)	26 (100.0%)
生徒数	177	182	197	862	1,418
退学率	1.1%	3.8%	0.0%	2.0%	1.8%

※表中の( )内は、該当する生徒数/退学者数×100

## (3) 原級留置者の状況

## 【全日制】

(単位:人)

学年	学科	普通科		専門学科		合計	
		生徒数	原級留置者数	生徒数	原級留置者数	生徒数	原級留置者数
1年	生徒数	55,728		3,558		59,286	
	原級留置者数	100		7		107	
	原級留置率	0.2%		0.2%		0.2%	
2年	生徒数	53,302		3,711		57,013	
	原級留置者数	72		23		95	
	原級留置率	0.1%		0.6%		0.2%	
3年	生徒数	54,357		3,680		58,037	
	原級留置者数	26		1		27	
	原級留置率	0.0%		0.0%		0.0%	
計	生徒数	163,387	(163,466)	10,949	(10,793)	174,336	(174,259)
	原級留置者数	198	(247)	31	(15)	229	(262)
	原級留置率	0.1%	(0.2%)	0.3%	(0.1%)	0.1%	(0.2%)

※生徒数は平成24年4月1日現在

※表中の( )内は前年度数値

## 【定時制】

(単位:人)

学年	学科	定時制	
		生徒数	原級留置者数
1年	生徒数	177	
	原級留置者数	3	
	原級留置率	1.7%	
2年	生徒数	182	
	原級留置者数	1	
	原級留置率	0.5%	
3年	生徒数	197	
	原級留置者数	0	
	原級留置率	0.0%	
単位制	生徒数	862	
	原級留置者数	0	
	原級留置率	0.0%	
計	生徒数	1,418	
	原級留置者数	4	
	原級留置率	0.3%	